

成 果 名	優秀種雄牛として「安谷鶴」と「豊福鶴」及び「照秀長」を選抜
<p>[要 約] 産肉能力検定（間接法）において、候補種雄牛 5 頭を検定し、成績優秀な種雄牛「安谷鶴」と「豊福鶴」及び「照秀長」を選抜した。優秀種雄牛 3 頭は系福の産子を含む広範の繁殖雌牛に交配可能な種雄牛である。</p> <p>「豊福鶴」は肉量においても期待ができ、「安谷鶴」と「照秀長」は兵庫県産種雄牛で肉質面に期待が大であり、「照秀長」は肉量の面でも期待できる。</p>	
機 関 名	畜産試験場 肉用牛改良部

[背景・ねらい]

産肉能力検定（間接法）において候補種雄牛産子（去勢子牛各 8 頭）を 3 6 4 日肥育し、増体量、飼料効率、発育、体型、肉量、肉質などを調査し、成績の特に優れた候補種雄牛を種雄牛として選抜する。

[成果の概要]

1 . 選抜牛の成績

1) 安谷鶴

純粋な兵庫県産種雄牛であり、検定の結果は DG0.97kg、BMS3.3、終了時体重 583.7kg でやや増体面で劣るが、肉質面での改良が期待され（表 1）、産子の特徴は、資質、中・前軀、肉付、肢蹄に優れている（表 2）。血統は父が谷福土井、母方の父が菊照土井（表 3）で、系福を含む系系及びその他の広範の繁殖雌牛に交配可能である。

2) 豊福鶴

検定結果は DG0.98kg、終了時体重 615.9kg、BMS3.0 であり（表 1）、産子は発育、中・前軀、被毛に優れている（表 2）。血統は系豊を父に、母方に福鶴 5 7、八重福で（表 3）、増体面の改良に期待できる種雄牛として選抜した。

3) 照秀長

安谷鶴同様純粋兵庫県産種雄牛であり、検定結果は BMS3.5、DG0.99kg、終了時体重 621.1kg、 Ω - λ 芯面積 54cm² と肉質・肉量両面に優れた種雄牛で（表 1）、産子は体積・均称、資質、肉付、前・中軀に優れている（表 2）。父は照長土井、母方の父菊道士井、安南土井で、系福を含む系系及びその他の広範の繁殖雌牛に交配可能である。

[普及対象]

県下全域

[普及上の留意点]

1 . 交配に当たっては雌牛の血統および種雄牛産子の体型上の特徴に留意すること。

[関連デ - タ]

表 1 平成 13 年度、間接検定 (5 頭) の成績

検定牛 名号	終了時 体重 (kg)	DG (kg)	飼料 要求率 TDN	推定 歩留 (%)	口-ス芯 面積 (cm ²)	皮下 脂肪厚 (cm)	ハラ厚 (cm)	BMS	備考
安谷鶴	584	0.97	6.06	74.3	51	1.9	6.3	3.3	選抜
豊福鶴	616	0.98	6.19	73.4	49	2.1	6.1	3.0	選抜
照秀長	621	0.99	6.36	74.7	54	1.8	6.8	3.5	選抜
福 麻	615	0.94	6.90	72.8	46	2.7	6.6	2.3	
真太郎	571	0.90	6.40	74.1	49	1.8	6.4	2.8	
平均値	601	0.96	6.38	73.9	50	2.1	6.4	3.0	
12 年度 (6 頭の平均)	599	0.93	6.26	73.4	47	2.5	6.7	3.0	

表 2 選抜種雄牛の間接検定材料牛終了時における体型上の特徴

種雄牛	共通の優れた点	共通の惜しまれる点
安谷鶴	資質、前軀、中軀、肉付、肢蹄	体深、腿、やや体伸
豊福鶴	発育、中軀、前軀、被毛	腿、やや長脚
照秀長	体積・均称、資質、肉付、前軀、中軀	尻の形状、尻幅

表 3 選抜種雄牛の産地および血統

種雄牛	生年月日	産地	父	母	祖父	祖々父
安谷鶴	H9.1.18	兵庫県	谷福土井	63 やすつる 6	菊照土井	安谷土井
豊福鶴	H9.8.25	山香町	糸豊	ふくづる	福鶴 5 7	八重福
照秀長	H9.3.3	兵庫県	照長土井	ひでこ	菊道土井	安南土井

[発表文献等]

畜産試験場試験成績報告書 (平成 13 年度)